

じどうせいと みな  
児童生徒の皆さんへ

がっこう さいかい げつちか す かん みな  
学校が再開されてから3か月近くが過ぎました。この間、皆さんは  
「新しい学校の生活様式」を取り入れながら、暑い中、マスクをつ  
け生活したり、お互いの距離をとって学習したり、これまでにな  
い我慢や努力をしてきたことと思います。

しんがた ころなういるす だれ かんせん かのうせい ま  
この新型コロナウイルスは、誰もが感染する可能性があります。マ  
スクをしたり、手洗いをしたりなど、丁寧に感染防止対策をとって  
ても感染することもあるのです。もしかすると、皆さんや皆さんの身  
近な人が感染してしまうこともあるかもしれません。

だからといって、決して感染した人が悪いわけではありません。

ころなういるす わ おお  
新型コロナウイルスは、まだ分からないことも多く、それがいろい  
ろな不安や恐怖を引き起こしています。その不安や恐怖からか、感染  
した人や症状のある人、病院で働く人など新型コロナウイルス  
の対策に関わっている人たちが、責められたり差別されたりすると  
いった悲しいニュースが増えてきています。

かんせんじたい おそ しんがた ころなういるす  
感染自体が恐ろしいのはもちろんですが、この新型コロナウイルス  
感染症に関して恐ろしいのは、感染した人や新型コロナウイルス  
対策に関わっている人などを責めたりいわれのない不満をぶついたり  
する雰囲気をつくりだしてしまうことです。

かんせん ひと わる ふんいき ひろ たいちょう  
感染した人が悪い、といった雰囲気が広がってしまうと、体調に  
不安がある人や具合が悪い人が、「新型コロナウイルスに感染したと  
思われたくない」といって、しんどい思いを伝えることができなくな  
ってしまったり、病院に行くことをためらったりしてしまうかもし  
れません。感染した人や症状のある人を責めたり、咳をしている人

や具合の悪い人を見てうわさをしたりすることは、決して許されないことです。

体調に不安がある時、しんどい思いをしている時、早い段階で自分から言い出せる雰囲気を作ることが大切です。新型コロナウイルスが広がる社会を安心して過ごせる社会にするのも「差別」やうわさが広がる社会にしてしまうのも、皆さんや私たちにかかっているのです。

そのためには、「人を思いやること」が大切です。もし自分だったらどうだろう、もし友達だったらどうだろう、この人はどんな思いなんだろう、と心を寄せてほしいと思います。そして、辛い思いをしている人にはいたわりの気持ちや温かく受けとめる気持ちをもってほしいと思います。

新型コロナウイルスの感染が広がる中で、皆さんは、友達と遊んだり一緒にスポーツをしたりすることやいろいろな行事の中で制限があるなど、これまで当たり前前にできていたことができにくく、いろいろなストレスや不安を抱えていることと思います。

先生たちは、皆さんのそんな不安を少しでも取り除くために、皆さんの思いに耳を傾けることをこれからも大切にしていきたいと思います。教育委員会も共に支えていきたいと思っています。

誰もが安心して生活できる日々を取り戻すために、共に力を合わせ、支え合っていきましょう。

令和2年9月1日

教育長 永井 初男